## 進捗報告

## 1 風景画、肖像画、風景と肖像の多義図形に段階的に blur をかけて test する

学習済みの風景画、肖像画、風景と肖像の多義図形の3クラス識別モデルを用いて、風景画、肖像画、風景と肖像の多義図形に段階的に $\beta$ 0 blurをかけて $\beta$ 1 test してどう識別されるかをグラフ化した。 $\beta$ 2 枚/クラスの正解ラベル。

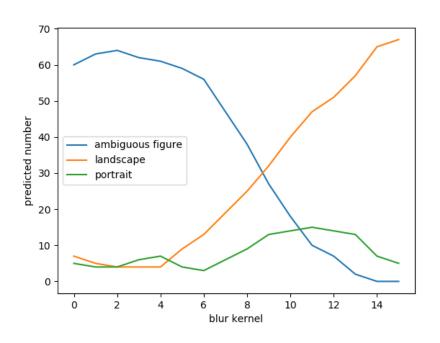


図 1: 正解ラベルが多義図形の場合

仮説的には blur をかけるに従って肖像画に見える割合が増えると予測したが (人間がそうだから)、結果的には風景画が増えた。gladcam 結果はまだ見られていないが、恐らく blur によって特徴が平坦化する中で風景画と同じく勾配のピークが全体に広がっていると考えられる。

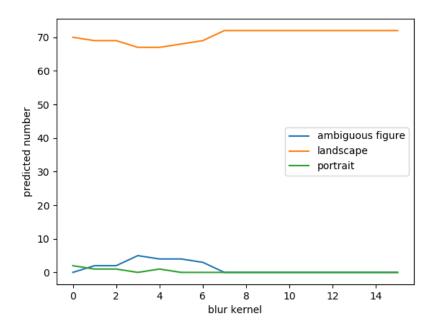


図 2: 正解ラベルが風景画の場合

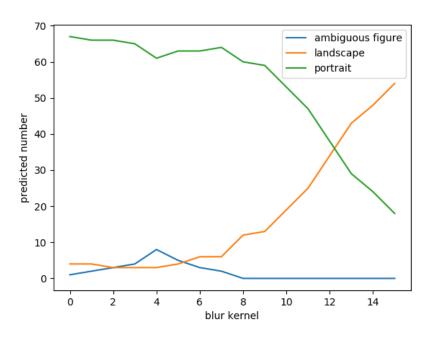


図 3: 正解ラベルが肖像画の場合